

H10-1-1 加入者交換機接続インタフェース(多数事業者間接続用インタフェース)

H10-1-2 中継交換機接続インタフェース(多数事業者間接続用インタフェース)

[本資料活用上の留意点]

1. 本資料では、NTT網との接続に関するインタフェース条件について、概略を記述しています。
2. 今回開示するインタフェースの詳細について、平成10年12月22日以降、調査用資料を発行いたします。入手方法等については、NTT情報ステーション(Tel: 0120-188220)にて掲示、ご案内しております。

1. 概要

2つのインタフェースの概要を、以下にそれぞれ示します。なお、2項以降に記述されたインタフェース条件は、この2つのインタフェースについて適用されます。

1. 1 加入者交換機接続インタフェース(多数事業者間接続用インタフェース)(H10-1-1)

加入者交換機接続において、接続する電気通信事業者の通信事業形態によらず、共通的に適用可能な接続インタフェースです。

1. 2 中継交換機接続インタフェース(多数事業者間接続用インタフェース)(H10-1-2)

中継交換機接続において、接続する電気通信事業者の通信事業形態によらず、共通的に適用可能な接続インタフェースです。

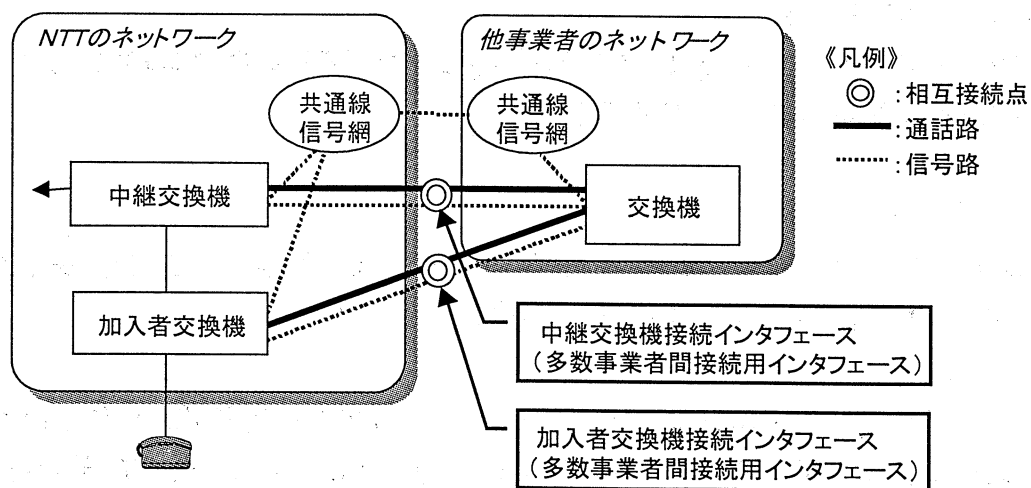


図1. 接続箇所ごとの相互接続インタフェース

2. 提供条件

電話サービス及び総合デジタル通信サービス(ISDN)を対象とします。

3. インタフェース

TTC標準(JJ-90. 10等)に準拠したインタフェースです。

3. 1 伝送装置間インタフェース

該当交換機間を接続するのに必要な伝送装置間の伝送インタフェースは、TTC標準JT-G 707, G708, G709で規定されている、52Mbit/sまたは156Mbit/sのSDHインタフェース(NNI)です。詳細についてはNTT接続約款技術的条件集別表6をご参照下さい。

3. 2 呼処理インタフェース

3. 2. 1 接続形態

TTC標準JJ-90. 10に準拠した接続形態となります。

3. 2. 2 番号方式

TTC標準JJ-90. 10に準拠した番号方式となります。

3. 2. 3 信号方式

- ・ 信号方式は、No. 7信号プロトコルを適用します。
- ・ 信号網構成は、準対応網構成または対応網構成とします。
- ・ 共通線信号リンク速度は、4. 8kbit/sまたは48kbit/sとします。ただし、準対応網構成の場合の共通線信号リンク速度は48kbit/sのみとします。

3. 2. 3. 1 MTP仕様

TTC標準JJ-90. 10に準拠したMTP仕様ですが、適用条件の詳細についてはNTT接続約款技術的条件集別表3をご参照下さい。

3. 2. 3. 2 ISUP仕様

一般呼接続のインタフェースはTTC標準JJ-90. 10に準拠したISUP仕様ですが、適用条件については以下に示す機能等で一部、制限があります。

- (1) NTT発信時のIAMに含まれるユーザ・ユーザ情報の送達確認方法については、NTT接続約款技術的条件集別表4補足資料6のとおりとします。また、NTT着信呼の送達確認においてユーザ・ユーザ表示パラメータのCBビット(サービス1)に“01”を使用します。
- (2) 付加ユーザ種別パラメータは、NTT着信時のACMIには設定しません。
- (3) 事業者情報転送パラメータは、NTT着信時のCPGに設定する場合があります。

3. 2. 4 接続条件

TTC標準JJ-90. 10に準拠した接続条件となります。なお、NTT発信時の付加機能(電話サービス、総合デジタル通信サービス)の利用条件等は、NTT発信時の料金設定権、柔軟課金方式の適用及び端末回線接続条件によって4種類のパターンに分類されます。各接続パターンごとの接続条件について表1に示します。

3. 2. 5 接続シーケンス

TTC標準JJ-90. 10に準拠した接続シーケンスとなります。

3. 2. 6 課金方式

TTC標準JJ-90. 10に準拠した課金方式となります。なお、ユーザ・ユーザ情報に関する網使用料の扱いについては、以下のように規定します。

(1) 課金レート

メッセージに付随するユーザ・ユーザ情報に対して、メッセージ数に応じた課金を行います。距離別課金は行ないません。

(2) 課金契機・課金方法

IAM, ACM, CPG, ANM, RELの各信号にユーザ・ユーザ情報が含まれている場合に、ユーザ・ユーザ情報度数(メッセージ数)を1カウントアップします。メッセージに含まれるユーザ・ユーザ情報については、送達確認の可否にかかわらず送信時に計数します。

3. 2. 7 試験方式

TTC標準JJ-90. 10 付録Aに準拠した試験方式となります。

3. 2. 8 輻輳制御方式

TTC標準JJ-90. 10 付録Bに準拠した輻輳制御方式となります。

3. 2. 9 端末への応答信号

TTC標準JJ-90. 10 付録Cに準拠した端末への応答信号となります。

3. 3 その他

NTT付加サービス個別の仕様については、相互接続されるサービス毎に規定します。

表1. 各接続パターンごとの接続条件(NTT発信時)

接続パターン		パターン1	パターン2	パターン3	パターン4	備考	
料金設定権		NTT	他事業者				
柔軟課金方式の適用		適用しない	適用しない	適用する			
端末種別		全端末	全端末	公衆のみ	全端末		
適用可能な番号形態		0A~J	00XY~ 002XY~	00XY~ 002XY~	020~ 070~ 090~		
有効最大桁数		10	26	26	11		
一般電話(ISDN含む)		○	○	○	○		
共同電話		○	○	○	○		
着信電話		×	×	×	×		
CES(受付台、特甲契約)		○	○	○	○		
同(準特甲契約)		○	×	×	○		
メンバーズネット(ISDN含む)		○	○	○	○	オフネット通話のみ 利用できます	
CESメンバーズネット		○	○	○	○		
ピンク電話	小型 (10円)	通常	○	×	×	×	端末条件により ○発信時は利用 できません
		カギ使用	○	○	○	○	
	大型 その他	通常	○	○	×	○	端末条件により 片通話となる場 合があります
		カギ使用	○	○	×	○	
カードピンク		○	○	×	○		
公衆電話	国際自即公衆		○	○	○	○	
	上記以外の街頭公衆		○	○	×	○	
	列車公衆		□	×	×	□ ^{注1}	料金設定権はN TTにあります

【凡例】 ○=利用できます、×=利用できません、□=協議により利用できます

注1:柔軟課金方式を適用しません。